

例会 NO 9 7

No 3- 14 1992. 10. 14 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クラブ・タフターマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第97回例会報告(10/7)

司会 SAA 今井 正司

☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄

☆国歌 斉唱 「君が代」

☆ロータリーソング 「日も風も星も」

ソングリーダー SAA 吉沢 洋景

☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄
加藤 行立様 (日本国際教育協会)

☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

* 小倉ガバナー及び
桜井地区幹事よりの親
書を受領：公式訪問の
歓待に対する御礼と当
日の諸行事及びクラ
ブ運営に関する所感に
ついて、別途配布(写)



のとおり率直に述べら
れている。公式訪問の貴重な体験と感動をベ
ースに、各委員会とも本格的な活動期に入ら
なければならない。

* 第7回理事会(定例)報告

9/24(木)開催の第7回理事会において、
次の事項を審議決定した。

・下記会員候補者の推薦について承認した。

飯島 裕美氏 職業分類：水処理
㈱サンエツ 代表取締役

宮田 邦夫氏 職業分類：化学製品
朝日化成(株) 代表取締役

・本年度一般会計の補正予算を決定した。
(別途配布のとおり)前年度決算報告に基
づき、事業費を多少なりとも上乘せしたつも
りです。

* 第2回多摩東分区会長幹事会報告

10/2(金)開催の第2回多摩東分区会長幹
事会における報告事項及び課題の内、主要事
項は次のとおりである。

- ① 「バランスのとれたクラブ業績に対する
会長賞」への各クラブの対応の協調。
- ② 1992規定審議会で決定された主要な制定
案ならびに決定議案。

・制定案92-55 旅行者のために特別のメー
クアップを規定する件

・制定案92-133 1993年7月1日より、人頭
分担金を毎年米貨2ドルづつ増やす件(修正
採択)→3年後35ドル頭打ち

・制定案92-136 国際ロータリーの財務報告
を毎年公表する件、この報告書はR1現及
び元役員に送付し、クラブから請求があれば送付しなければならない。

・制定案92-237 決議案の締切日を変更する
件(修正採択)→規定審議会の開かれる90
日前までとする。

・制定案92-263 クラブがロータリーの創立
記念週間を祝う件

・決議案92-286 社会奉仕に関する新声明を
採択する件。

・決議案92-287 クラブに対して、環境保護に重点を置き、環境保護に協力することを各ロータリアンの責務と明言するよう奨励する件

③ クラブ委員会組織案の改正と可及的速やかな実施。クラブ奉仕委員会の小委員会のうち、効果的な会員増強を図るため、職業分類、会員選考、会員増強、ロータリー情報の各委員会は、会長エレクトか副会長のいずれかが監督調整する。

④ 環境保全に関する 500円玉募金に関する協力要請。IMで別途全会員に協力をPRする。

⑤ 多摩南、中、東3分区合同IMの出席要請と、特に第2分科会（職業奉仕、社会奉仕）の運営方法

*平岩弓枝先生の記念講演は会員夫人の聴講OK。

⑥ 各クラブ会長の近況報告。ガバナー公式訪問経過報告その他活動実績について説明。

☆幹事報告 幹事 遠藤 二郎

① 米山記念奨学会より平成3年度の事業報告書が来ています。

② 10/28、100回記念例会の打合せを例会後1時30分より開催いたします。

③ 会長報告の中に有りましたIMの分科会に出席者を登録してありますので万難を排して出席をお願いいたします。

④ 野沢麻衣子さんより近況報告の手紙が来て居ますので回覧をいたします。

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員 城倉 正博
〔出席報告〕（出席免除者2名）

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	44	37	2	5	88.64%
前回訂正	44	43	-	1	97.73%

〔本日のメークアップ〕

小坂 一郎 (10/2 R財団委員長会議)

松原 健 (10/1 藤岡RC)

〔欠席届者〕 足立潤三郎

〔欠席者〕 永田 健作, 戸田 昭寿,

吉原光太郎, 横倉 恒雄

10/23 バルテノン多摩でのIMには一番近いクラブですので、是非共100%出席をお願いします。又本配布のガバナー月信に8月の出席率が乗っていますが89.61%です。もう少しがんばると90%台に乗りますので欠席を少なくして下さい。

★親睦委員会 親睦委員長 杉田 誠

ニコニコBOX



赤尾 恭雄 加藤 様
を卓話講師としてお
迎 えて。

伊神 稔 お客様よ
うこそ。

橋本 幸夫 加藤先

生をお迎えて、有難う御座居ます。

津守 弘範 加藤さん卓話をよろしくお願
いします。たのしみにしています。

新海源四郎 ガバナー訪問を終えて。

橋口 洋三 前回、出席率 100%祝を頂いた
ので。

海野 栄一 衣替えの季節となりました。

佐伯 和廣 ロータリーはつかれますか？

宮本 誠 今日は、開会前美しい音楽など
がかかっている優雅ですね。

北村 幸彦 9クラブ対抗ゴルフコンペで団
体準優勝が取れましたので。

風間 茂穂 又、2週間の出張の予定で欠席
の可能性あるため。

中山順一郎 みなさん元気ですか。

藤本 吉文 森田舞子様ようこそ。

森田 舞子 入会出来ましたので…。御礼で
ございます。

杉田 誠 森田会員親睦にようこそ。

以上合計 36,000円

☆親睦テニス同好会 宮本 誠

萩生田会員より新品のラケット数本を寄付
して頂きましたのでふるって参加して下さい。
萩生田さんどうもありがとうございました。

☆ゴルフクラブ 伊神 稔

先般のガバナーチャリティゴルフはゴルフ
部の皆様方おいそがしい所公私に涉ってあ
りがとう御座いました。又9クラブ対抗で団

体では第2位、個人では足立会員が第5位に入賞いたしました。

★社会奉仕委員会 委員長 吉尾警太郎
先程会長よりお話のありました500円玉の基金のBOXです。ニコニコの横に置きますので皆様方それに近い額を入れて下さい。本日より始めます。

【卓話】
—『米山月間にちなんで』—

日本国際教育協会
加藤 行立様

本日は、お招を頂きまして有難うございます。又、ロータリー米山記念奨学会で誠に潤沢な奨学金を頂き、今年度日本全国で900名もの留学生がお世話になっておりまして、その留学生の名に於いて感謝致します。



さて現在私どもでは10万人の留学生を受け入れようとする政策を推進中であります。これは1983年に中曽根さんが東南アジアへ行かれた折に、元日本に留学をした経験者達との会合で、非常なショックを受けた事が有り、せめて日本の国力に見合った責任を果たしたい(当時1万人の留学生を平成12年までに10万人にしよう)という事で始めた訳であります。

現在、昨年5月30日の統計では、全国に4万5000人(内、中国、韓国、台湾を中心としたアセアン各国の人々が92%)の学生がおります。年に10%づつ増加しておりますので、今日現在ではおよそ5万人を越えていると思います。そして今の見通しでは平成12年には当初の計画10万人をはるかに上回ると思われます。今中国大陸の学生だけでも2万人おりますので、その時期には4万人の学生がいることになると思います。私たちはこれを第3の開国と云っておりますが、云うまでもなく、ベリが日本に来た時が第1の開国期、第2は1945年8月15日に終戦となりマッカーサーが来た時、そして今が第3となります。第1、

第2は軍隊の力で日本は開国させられましたが、今の第3の開国は、誠に平和的な、日本の周辺でアジア諸国から日本に向けて留学生が門戸をたたいている、これを私達は第3の開国と位置付けている訳です。

さて、政治に限らず経済・社会・文化等に於けるさまざまな分野での、人間の営みと云うものは、全て地球上に住む人々の平和を願い、世界に恒久的な平和と安定をもたらす事を究極の目的としておると考えます。一口に人類の幸せと申しまして、国が違えばそこに異なった文化が有り、異なった価値観が有り、平和裡に共存する為には、お互いに相手を理解し合い認め合う国際交流をする事が大切だと考えております。その様な国際交流をやるには、まずお互いに相手に対し思いやりの気持ちを持ち続ける事が必要で、これはロータリークラブが1905年に成立された時の理想で有り、国際交流と一口に云いまして、様々な分野が有ると思いますが、特に最近PKO法が成立しカンボジアに自衛隊が出て行き平和活動をする事になると、少なくとも留学生交流に携わる私どもは、世界に冠たる平和憲法をいただいている私達が究極的な目標である人類の平和とか安定に近づくためには、国際社会の中で日本がどのような貢献をしたら良いかを改めて問い直すことだと思います。

そこで私はロータリークラブの創設時の理想をもう一度考えてみたいと思います。平和の為の国際貢献と云う場合には、外国からの留学生を受け入れたり、日本の学生を海外に送り出すと云う形での国際交流が特に重要と考えております。それは、学生というものは日本から海外へ、あるいは日本に来るという場合にも国際間の利害等を超越しており、純粋に私的な欲求から母国を離れてそれぞれ勉強をする、この様な留学生の事を考える時、私共は常に「後生畏るべし」の言葉が浮かびます。これは、青年達は年長者に比べ、経験も浅く、思慮も無い、しかし将来は大きな可能性を持っているので私共はそうした人材が育つ様に、暖かく見まもってやらねばならないという事です。今、10代の若い世代は確実に21世紀の後半まで生き延びて、それぞれの

地域社会で指導的な役割を果たすことになる訳です。この意味から私はロータリーの奉仕の精神を永続させる為に次代を担う青少年の育成に大きな関心を払っておられ、国際奉仕部門では、就中留学生交流に非常に力を入れておられ、現在 900名近くの学生がお世話になっている訳です。この様なロータリーの米山奨学会により派遣する学生も、日本に受け入れた学生につきましても多大な成果を上げており、私はこのロータリーの活動に対し心から共感し、敬意を表したいと思います。

(中略) 一方、米山奨学金によりどれほど留学生が助けられているかは、計り知れないものが有る訳であります。近年円高により物価がすごい、にもかかわらず日本は留学生が集ってくる現実から見ると、民間団体や公共団体の奨学財団と云うものを拡充して行かねばならないと思います。つまり、日本では今約13万5～6千円の金が掛かる。しかし家からの仕送りは、5～6万しかなく大半の生活費はアルバイトによらねばならぬという状況を、その時間を彼らが勉強し、又学校で日本人学生との交流が出来る様にしなければならない訳です。

今日本の政府が奨学生として月 138,500円を払っておりますが、私費留学生は 138,500円を生活費に使い、授業料を払わねばならず、又交通費、アパートの権利金、敷金を負担せねばならない。この様に大変な生活をする訳です。従って苛酷なアルバイトを強いられた本来の学生生活を送れずにいる訳です。私達は物心両面で私費留学生に対し各種援助事業を一層拡大、拡充しようと考えております。

私達が教育の現場又それぞれの地域社会の中で、それぞれの仕事を通じて外国からの、特にアジア地域からの留学生を助け、立派な人材に育成をし、それぞれの母国に帰った時に、なんらかその国の為に貢献が出来る人材を育てて帰す事が出来、又帰国した後、いつ

までも日本に対する愛着心をいだきつけてほしい。そして日本が「なつかしい」又日本は自分の第2の祖国だと思ってくれる様な人達を造り出して帰すことが出来れば、私達はこれこそ真に平和の為の国際貢献だろうと思います。そして彼等は確実に21世紀の後半まで生き延びて、政府や外交官達が何年掛かっても出来ない様な友好の絆を日本とそれぞれの国とに結ぶだろうと考える訳であります。

〇〇〇 【囲碁のはなし(1)】 ●〇●〇

囲碁部 奥田 文夫

我がクラブにはレッキとした囲碁クラブがありますが、メンバーは僅か2名しかいません。どうしてこんなにメンバーが少ないのか？ ゴルフに比べたら淋しい限りです。

日本の世界に誇れる文化として囲碁を挙げる事ができるなら、当クラブのメンバーに囲碁のあれこれをお話し、理解を深めていただくのも、小生の役目かと思ひ、シリーズで少しづつ書かせていただきます。

●その1 碁はどうすれば強くなれるのか

日本のプロの囲碁の世界は、目下、木谷門下生でトップ(いわゆるタイトル保持者)が独占されています。この群団の兄貴分が大竹英雄九段ですが、その大竹九段が名人位に就いた時、囲碁ジャーナリストがたずねました。「木谷一門は有望な若手が続出して、タイトル総なめですが、どうしてなのですか。」大竹九段「それは、内弟子がいっぱいいいて、わいわいがやがや、やっているからでしょう。」「それでも、強くなる人と、ならない人がいますね。強くなる人はどこが違うのですか。」

大竹九段「しばらく考えてから)「それは耳です。耳の良い人が強くなるんです。」

この記事を見て、私は大竹さんて人間を深く読めるなあーと思いました。皆さん、如何ですか。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30